



クイックスタートガイド



DIGITAL SNAKE S16

I/O Box with 16 Remote-Controllable MIDAS Preamps,
8 Outputs and AES50 Networking featuring
KLARK TEKNIK SuperMAC Technology

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてあります。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご確認ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用している際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本機器は熱帯気候および / または温帯気候下でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、MUSIC Group は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。MIDAS、KLARK TEKNIK、LAB GRUPPEN、LAKE、TANNOY、TURBOSOUND、TC ELECTRONIC、TC HELICON、BEHRINGER、BUGERA および DDA は MUSIC Group IP Ltd. の商標または登録商標です。© MUSIC Group IP Ltd. 2016 無断転用禁止。

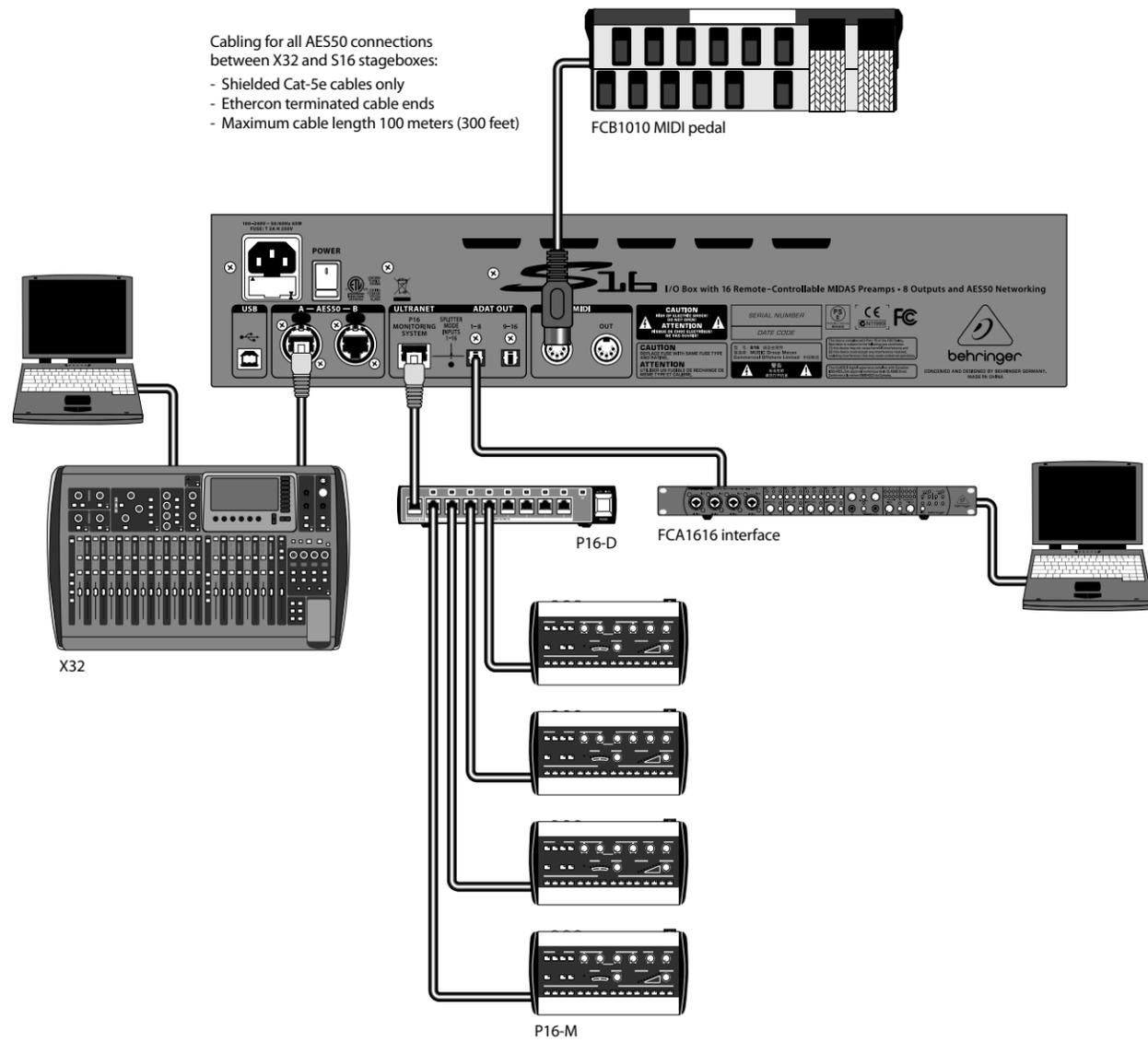
限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

DIGITAL SNAKE S16 フックアップ

ステップ 1: フックアップ

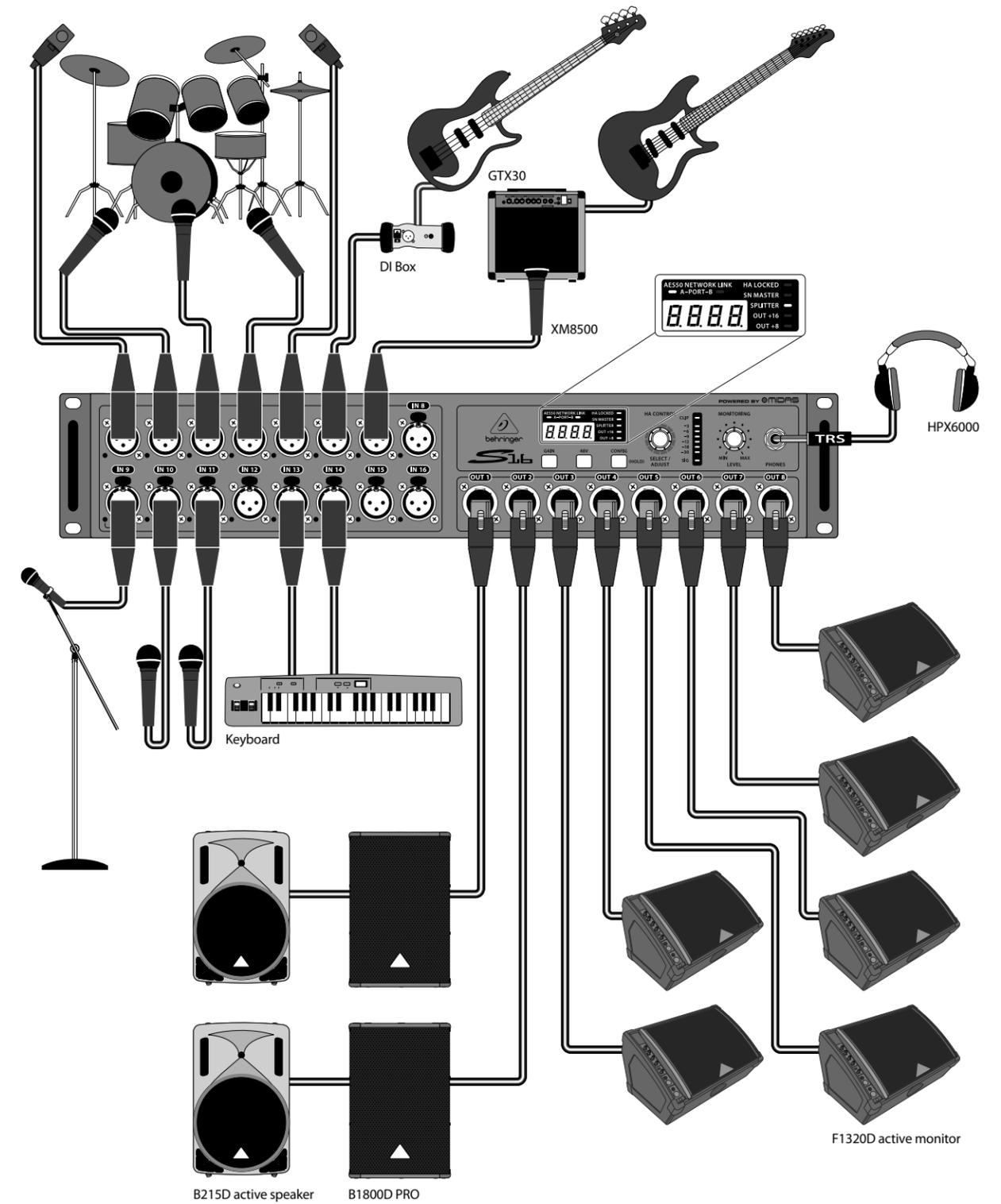
S16 リアパネル接続例



X32 と S16 ステージボックス間の AES50 接続:

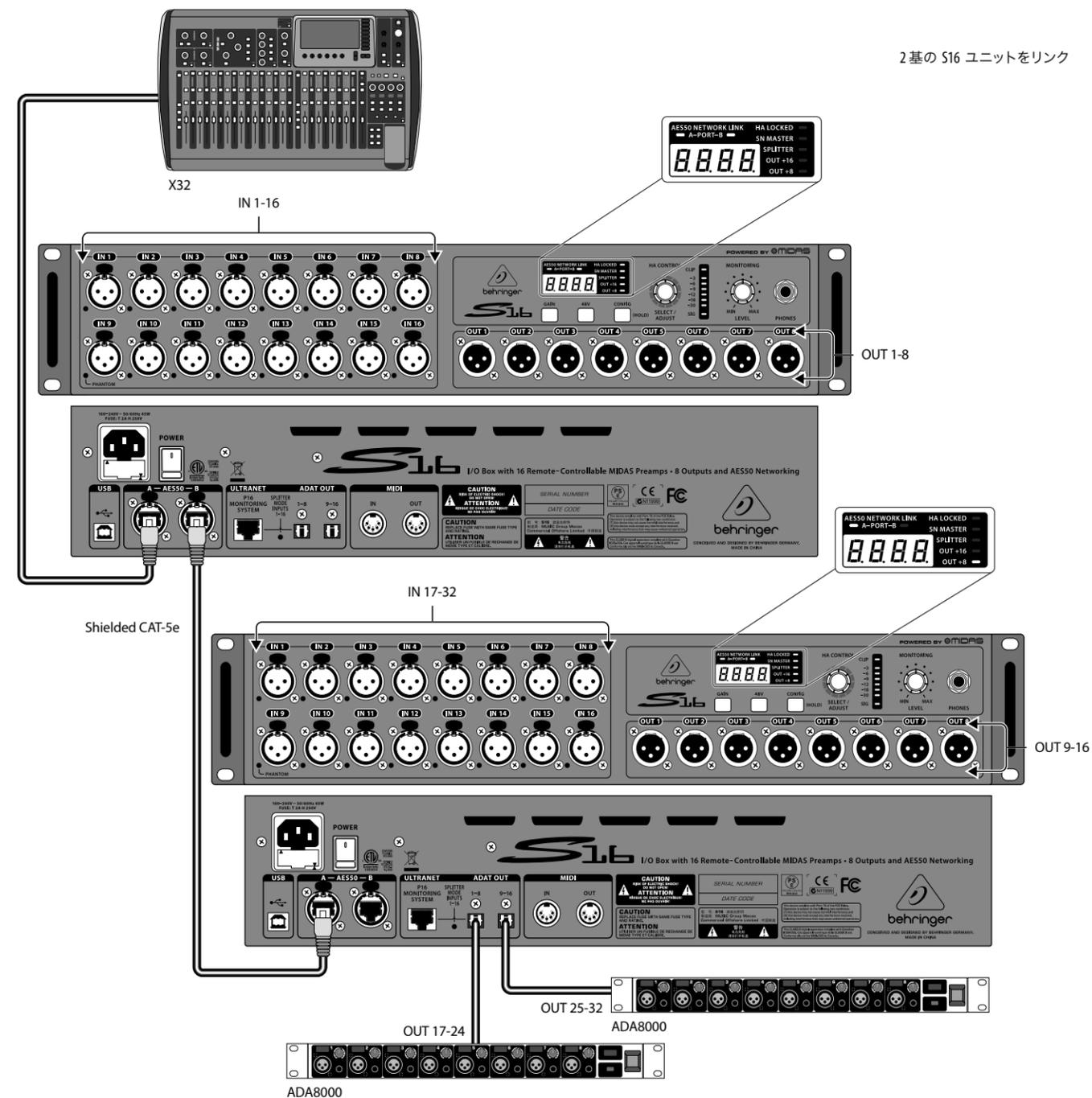
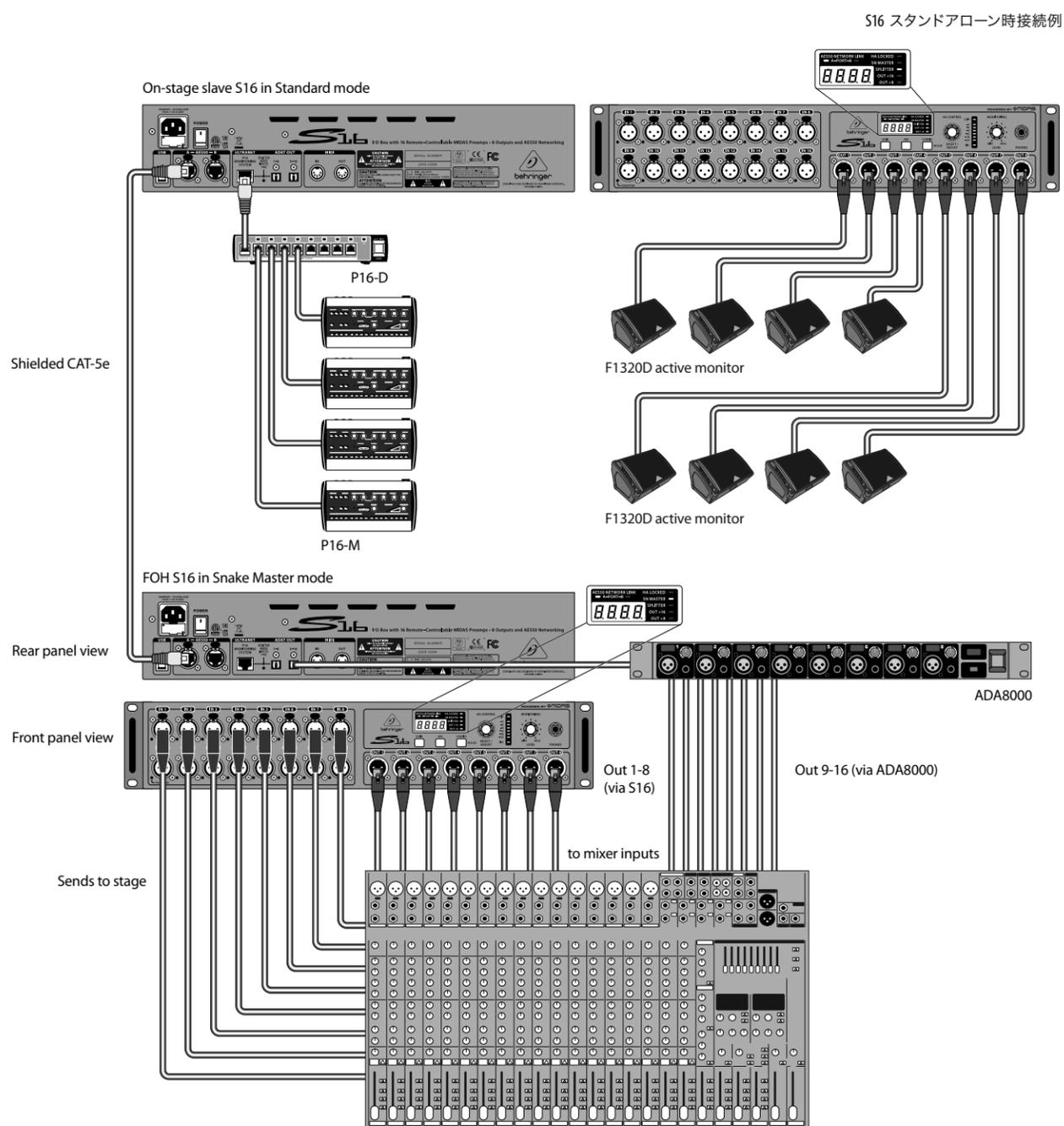
- CAT-5e シールド、イーサコム ターミネーションタイプ
- ケーブルは最長 100 メートル (330 feet) まで

S16 フロントパネル接続例



DIGITAL SNAKE S16 フックアップ

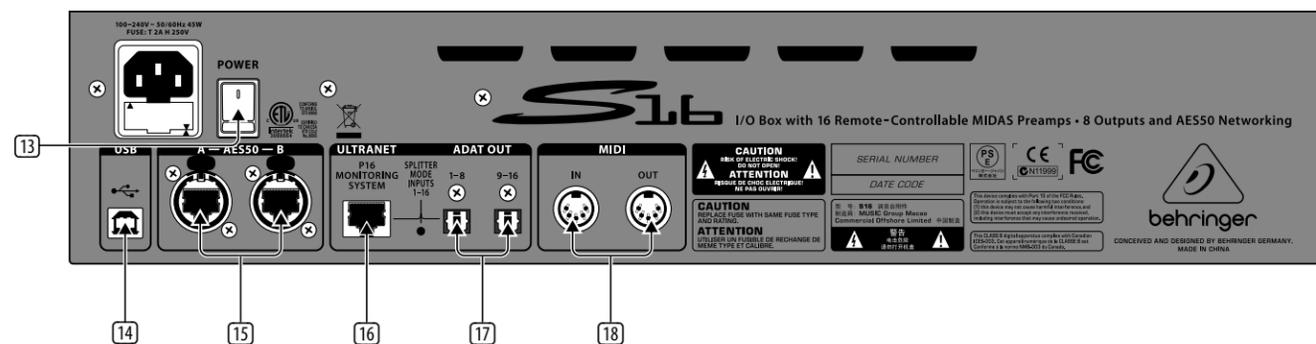
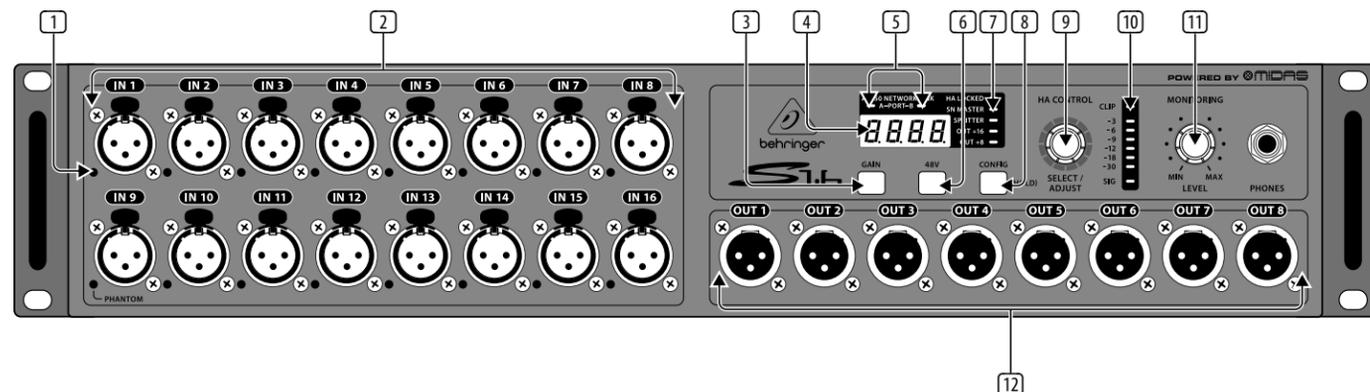
ステップ 1: フックアップ



備考: 両方の S16 ユニート (アウトプット 1-8 と 9-16) と両方の ADA8000 (アウトプット 17-24 と 25-32) の信号は X32 の『ルーティング / AES50 アウトプット』ページで設定されます。2 基目の S16 はアウトプット番号をおのおの +8 ヘットする必要があります。

DIGITAL SNAKE S16 コントロール

ステップ 2: コントロール



- ① 48V のボタンが押されているチャンネルはファンタム LED が点灯します。
- ② MIDAS 設計のマイク / ラインインプットはバランス型 XLR のオスプラグを接続します。
- ③ GAIN ボタンが押されると現在選択されているマイクインプットのゲイン設定を表示します。設定は SELECT/ADJUST ノブで行います。
- ④ ディスプレイにはチャンネルナンバー、ゲイン設定、Snake Master コンフィグレーション上のサンプルレートが表示されます。
- ⑤ NETWORK LINK LED は AES50 ポートにシンクロしていない場合は赤に、接続およびシンクロしている場合は緑に点灯します。
- ⑥ 現在選択されているチャンネルで 48V ボタンが押されるとマイクインプットにファンタム電源を供給します。アクティブな状態でボタンが点灯します。
- ⑦ ステータス LED はさまざまな機能の動作モードを表示します。詳細については、動作モードのチャートを参照してください。HA LOCKED LED は、プリアンプのゲイン調整が X32 によって制御されロックしていることを示します。ロックを解除するには、X32 の Setup/Global ページを開き、General Preference 内の "Lock Stagebox" のチェックを外します。
- ⑧ CONFIG ボタンが押されると、SELECT/ADJUST ノブによってデバイスオペレーションモードの設定が可能です。
- ⑨ SELECT/ADJUST ノブは 16 のチャンネルをスクロールしたり、選択されたインプットのゲイン調節および操作モードの変更などを行います。繰り返し押しすることによって「In」インプット、「Out」アウトプット、「P」16チャンネル、「A」ADAT アウトプットおよび「SL」スレーブ (Snake Master モードのみ) を切り替えます。
- ⑩ LED METER は選ばれているチャンネルの信号レベルを表示します。
- ⑪ MONITORING LEVEL ノブは PHONES のアウトプットレベルを調整します。
- ⑫ XLR アウトプットはバランス型 XLR のメスプラグを接続します。
- ⑬ POWER スイッチは機器の電源をオン / オフします。
- ⑭ USB インプットは USB タイプ B プラグに対応し、PC によるファームウェアのアップデートを行います。
- ⑮ AES50 ポート A およびポート B Neutrik etherCON (ノトリック イーサコン) 互換の端子を持つ、Cat-5e 対応シールド Ethernet ケーブル経由で、SuperMAC デジタル・マルチチャンネル・ネットワークへ接続します。注意: クロック・マスターは、通常デジタル・ミキサーですが、必ず AES50 のポート A に接続し、追加のステータス・ボックスをポート B に接続します。
- ⑯ ULTRANET ポートは 16 チャンネルを Behringer P-16 パーソナルモニターシステムへ送ります。
- ⑰ ADAT OUT ジャックは AES50 のチャンネル 17-32 をオプティカルケーブルを用いて外部機器へ送ります。また、内部の 16 インプットをスプリットしてダイレクト ADAT レコーディングに用います。
- ⑱ MIDI IN/OUT ジャックは標準 5 ピン MIDI ケーブルを使って MIDI で X32 と送受信を行います。

DIGITAL SNAKE S16 Operation Mode Chart

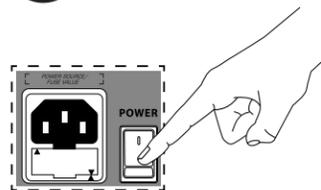
Seq.	LED SN MASTER	sync clock	LED SPLITTER	LED OUT +16	LED OUT +8	XLR analog out 1-8	ADAT out 1-8	ADAT out 9-16	P-16 Ultratnet out 1-16
1		ext				= AES50-A, ch01-ch08	= AES50-A ch17-ch24	= AES50-A ch25-ch32	= AES50-A ch33-ch48
2		ext			on	= AES50-A ch09-ch16	= AES50-A ch17-ch24	= AES50-A ch25-ch32	= AES50-A ch33-ch48
3		ext		on		= AES50-A ch17-ch24	= AES50-A ch17-ch24	= AES50-A ch25-ch32	= AES50-A ch33-ch48
4		ext	on			= AES50-A, ch01-ch08	= Local In 01 - 08	= Local In 09 - 16	= Local In 01 - 16
5		ext	on		on	= AES50-A ch09-ch16	= Local In 01 - 08	= Local In 09 - 16	= Local In 01 - 16
6		ext	on	on		= AES50-A ch17-ch24	= Local In 01 - 08	= Local In 09 - 16	= Local In 01 - 16
7	on	48 kHz				= AES50-A, ch01-ch08	= AES50-A, ch01-ch08	= AES50-A ch09-ch16	= AES50-A ch01-ch16
8	on	44.1 kHz				= AES50-A, ch01-ch08	= AES50-A, ch01-ch08	= AES50-A ch09-ch16	= AES50-A ch01-ch16
9	on	48 kHz	on			= AES50-A, ch01-ch08	= Local In 01 - 08	= Local In 09 - 16	= Local In 01 - 16
10	on	44.1 kHz	on			= AES50-A, ch01-ch08	= Local In 01 - 08	= Local In 09 - 16	= Local In 01 - 16

DIGITAL SNAKE S16 はじめに

ステップ 3: はじめに

1 電源を入れる前にすべてのオーディオおよびデジタルの接続を確認します。

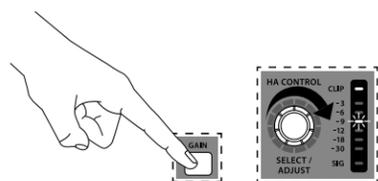
2 電源を投入します。



3 SELECT/ADJUST ノブを回してインプット 1 を選択します。

4 インプットにファンタム電源が必要であれば 48V ボタンを押します。

4 GAIN ボタンを押すと (ボタンが点灯) SELECT/ADJUST ノブによりゲインの調整が可能です。演奏や音声ピークの所でメーターの -3 LED がたまたま点灯するまでノブを右へ回します。



6 PHONES にヘッドフォンを接続します。MONITORING LEVEL ノブを通常のリスニングレベルまで上げます。

7 CONFIG ボタンを押したままにすると設定モードへ入りまます。CONFIG ボタンを押したまま SELECT/ADJUST ノブを回して下記の機能を選択します。

- ・ SN MASTER では S16 を 2 基のスタンドアローンユニットとしての使用時にマスター側を設定します。4 つのモード 44.1 kHz、48 kHz、各々スプリッターモード有効、無効があります。
- ・ SPLITTER では本機の 16 インプット信号を直接 ADAT OUT ジャックへ送ります。SPLITTER 機能が無効の場合、ADAT OUT ジャックは AES50 チャンネル 17-32 へ送ります。
- ・ OUTPUT 1-8 (AES50 チャンネル 1-8 へ転送: LED 消灯)、9-16、17-24 (OUT +8、OUT +16 機能有効) の何れかを選択します。

8 CONFIG ボタンを放して設定モードを終了します。

9 詳しくはオペレーションモードの表を参照してください。

技術仕様

Processing	
A/D-D/A conversion (Cirrus Logic A/D CS5368, D/A CS4385)	24-bit @ 44.1 / 48 kHz, 114 dB dynamic range
Networked I/O latency (stagebox in > console processing* > stagebox out)	1.1 ms
Connectors	
XLR inputs, programmable mic preamps, designed by MIDAS	16
XLR outputs	8
Phones outputs, ¼" TRS	1 (mono)
AES50 ports, SuperMAC, NEUTRIK etherCON	2
P-16 connector, Ultraset (no power supplied)	1
MIDI inputs / outputs	1 / 1
ADAT Toslink outputs (2x 8 Ch)	2
USB type B, rear panel, for system updates	1
Mic Input Characteristics	
Design	MIDAS
THD + noise, 20 dB gain, 0 dBu out	< 0.006 % A-weighted
Input impedance XLR, unbal. / bal.	5 kΩ / 10 kΩ
Non clip maximum input level, XLR	+23 dBu
Phantom power, switchable per input	48 V
Equivalent input noise level, XLR (input shorted)	-128 dBu
CMRR, XLR, @ 20 dB gain (typical)	> 70 dB
CMRR, XLR, @ 40 dB gain	> 80 dB
Input/Output Characteristics	
Frequency range, @ 48 kHz sample rate, 0 dB to -1 dB	10 Hz - 22 kHz
Dynamic range, analog in to analog out (typical)	106 dB
A/D dynamic range, preamp and converter (typical)	109 dB
D/A dynamic range, converter and output	108 dB
Cross talk rejection @ 1 kHz, adjacent channels	100 dB
Output level, XLR, nom./max.	+4 dBu / +21 dBu
Output impedance, XLR, unbal. / bal.	75 Ω / 75 Ω
Phones output impedance / level	40 Ω / +25 dBm (mono)
Residual noise level, XLR and TRS	-87 dBu A-weighted
Indicators	
Display	4-digit, 7-segment, LED
Front status LEDs	AES50-A, red/green AES50-B, red/green HA Locked, red SN Master, green Splitter, orange Out +16, orange Out +8, orange
Meter	Sig, -30 dB, -18 dB, -12 dB, -9 dB, -6 dB, -3 dB, Clip
Rear panel	Splitter mode, orange
Power	
Switch-mode autorange power supply	100-240 V (50/60 Hz)
Power consumption	45 W
Physical	
Dimensions	482 x 225 x 89 mm (19 x 8.9 x 3.5")
Weight	4.7 kg (10.4 lbs)

*) incl. all channel and bus processing, excl. insert effects and line delays

NOTE: Please verify that your specific AES50 connections provide stable operation prior to using the products in a live performance or recording situation. The maximum distance for AES50 CAT5 connections is 100 m / 330 ft. Please consider using shorter connections where possible for gaining safety margin. Combining 2 or more cables with extension connectors can reduce the reliability and maximum distance between AES50 products. Unshielded (UTP) cable may work well for many applications, but entails an additional risk for ESD issues. We guarantee, that all our products will perform as specified with 50 m of KLARK TEKNIK NCAT5E-50M, and we recommend using cable of similar quality, only. KLARK TEKNIK also offers the very cost-effective DN9610 AES50 Repeater or DN9620 AES50 Extender for situations where extremely long cable runs are required.

その他の重要な情報

JP

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くにはないときは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

Dedicate Your Life to Music